

さいたま市立内谷中学校

白、い、く、一、ト

教育目標 ・進んで学ぶ ・心豊か ・たくましく
令和 元年 5月 1日



第460号

〒336-0034 さいたま市南区内谷 6-10-1 Tel. 048-861-7571 <http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp>

「家庭と共に」

校長 丹 能成

新緑の季節となりました。4月8日(月)の始業式・入学式から、3週間が経とうとしています。新しい環境の中で、生徒たちは、意欲的に学校生活を送っています。去る4月12日(金)の全校授業参観及び学級懇談会、4月20日(土)の学校公開には、多くの保護者の皆様に御参加をいただき、誠にありがとうございました。

さて、4月22日(月)の朝礼で、私は、生徒たちに「自分を大切にする」ことについて話をしました。「自分を大切にするとは、今を大切にする。一日一日を大切にして学習や行事、部活動などに粘り強く取り組んでほしい」と伝えました。

様々な調査の結果から、「自分を大切にする」気持ちが強い子どもほど、「他者を思いやる」意識が高いことや、「自分の将来に夢や希望を持っている」割合が高いことが分かっており、「自分を大切にする」気持ちは、豊かな人生を送るためにたいへん重要です。「自分を大切にする」気持ちは、できなかったことが出来るようになった、目標に向かって努力して乗り越えることができたなどの経験を積み重ねることで強くなっていくと言われていきます。

生徒たちには、一瞬一瞬を大切にして粘り強く地道に努力を重ね、自分を大切に思う気持ちを強くして行ってほしいと願っています。全教職員で、生徒たちの学校生活をしっかりと支えてまいりますので、御家庭でもお子さんを励ましていただければと思います。

ところで、子どもの成長には、家庭での教育が大きく影響することは言うまでもありません。私が親として心に留めている詩を紹介させていただきます。家庭教育の大切さを訴え、また、14年程前に皇太子殿下の紹介でたいへん有名になったアメリカの教育学者 ドロシー・ロー・ノルト 博士の「子は親の鏡」という詩です。

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引込みじあんな子になる
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張りやになる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

時々、私は、この詩を学校に置き換えて自戒のために読み返しています。「生徒は教師の鏡」です。保護者の皆様と共通の認識をもちながら、共に生徒たちの成長を見守っていければと思っています。